



月刊 さいとう健



臨時号

平成24年2月17日発行

「税と社会保障改革の 忘れもの」

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。
大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。
零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。
日米交渉や行政改革、地方行政(埼玉県副知事に出向)などに携わる。
平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。
平成21年衆議院総選挙において、比例南関東ブロックで初当選。
現在、党政務調査会会長補佐・シャドウキャビネット(影の内閣)の
総理補佐官として活動中。

〔趣味〕 読書、カラオケ、ハンドボール

〔好きな食べ物〕 ラーメン、焼肉(特にカルビとハラミ)

さいとう健 後援会事務所(千葉銀行おたかの森支店裏)

〒270-0137 流山市市野谷665-40-103

TEL: 04-7157-6223 FAX: 04-7157-6224

E-mail : info@saito-ken.jp

さいとう健 国会事務所

〒100-8981

千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室

TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221

「税と社会保障改革の一体改革」が、いよいよ3月には法案化されて国会に提出される運びとなりました。

今回の消費税増税の議論については、この月刊でもたびたび取り上げてきましたが、今回は、忘れられている大事な論点について、さいとう健の意見を申し上げたいと思います。

1月30日の読売新聞に、こういう記事がありました。

フランスが今年10月から、付加価値税(日本の消費税に相当)の税率を19.6%から21.2%に1.6%引き上げるとい記事でありました。興味深いのは、その引き上げによって得られる増収分1兆3千億円を、企業の社会保障負担軽減に充てるという点です。

その理由は、企業が高負担に耐えかねて海外流出し、空洞化が進んでいるので、それを防止するためだということです。

実は、本来、我が国の「税と社会保障改革」も、法人税や相続税・所得税など税制全般の改革を行うということになっておりましたが、いつの間にか消費税の増税の議論だけとなり、それ以外の改革はほとんどが先送りとなっております。世界最高水準の法人税の負担軽減も行われておりません。

最近新聞を読んでいますと、企業が海外に出ていく記事であふれています。さいとう健は、今、戦後最大の空洞化の危機だと心配しています。このままの状態が続くと、雇用や中小企業の取引に大打撃です。少しでもこの動きにブレーキをかけるような政策が今ほど必要なときはありません。

なのに、現政権の議論は消費税だけで、この視点は全くありません。

今回の月刊では、消費税改革と同時に、税制の抜本改革を行い、とりわけ、法人税負担の抜本的軽減策を講じないと、手遅れになると強く主張したいと思います。一度海外に出て行ってしまった企業は、なかなか国内には戻ってきません。

サルコジ大統領によれば、2000年代半ばにドイツが行った税制改革でも、消費税増税と企業の労働コスト削減を同時に行い、輸出増加・経済活性化につながったそうです。

最近知人の大企業の社長がさいとう健に語った言葉が、耳から離れません。

「自分は日本企業だから日本で事業をして雇用も維持したい。でもこの環境では無理だ。政府に言っても我々のことは考えてくれないし、騒ぎにもしたくないから、できるだけ静かに海外に出ていくしかない。」

我が国の「税と社会保障改革」にも、ぜひこの論点を付け加えるべく、国会で論争をしていきたいと思っております。手遅れにならないうちに。

それにはまず、わが党も民主党の協議要請に応じて建設的な議論を積み上げていくことが大事だと思います。

さいとう健 政治活動史

2009.8.30

背水の陣の中、104,262票を頂き、比例南関東ブロックから初当選。自民党新人議員は全国で4名のみ。

2009.11.4

衆議院予算委員会にて質問。全国中継される。当選3カ月の1年生議員が質問するのは異例。

2010.4.20

衆議院本会議場に登壇。ネクストジャパン環境担当として「低炭素社会づくり推進基本法案」の趣旨説明を行う。

2010.9

石破茂政務調査会長のもと、政務調査会事務局長に就任。党内全ての政策の実務に奔走。

2010.11.9

衆議院予算委員会でのさいとう健の質問がネット動画で反響を呼ぶ。10代・20代の若者から熱狂的な支持を受ける。

2011.3

東日本大震災が発生。街頭募金活動、支援物資募集活動を緊急に行う。

2011.5.18

宮城県被災地に入る。現状と被災者の声を国政に届ける。

2011.5.19

東日本大震災復興再生基本法案の議案提出者として、野党でありながら衆議院本会議に「答弁者」として登壇。

2011.7

地元ホットスポット問題について14日15日27日とたて続けに委員会質問で追及。

2011.8.26

放射性焼却灰処理とホットスポットの除染は国の責任と費用負担とする特別措置法が、さいとう健を中心とする議員立法で成立。

2011.10

政務調査会会長補佐として引き続き党政務に当たるとともに、シャドウキャビネット(影の内閣)の総理補佐官に就任。新人議員では異例の抜擢。

2012.2.1

衆議院予算委員会にて議員になってから5度目の質問。空漠とした現政権政策に対し、「あれは何だったんでしょうか」と問いかけ話題を呼ぶ。

「ミニ集会」のご案内

さいとう健は、皆様とひざをつき合せて意見交換ができるミニ集会を、活動の原点としております。二人でも三人でも結構ですので、ぜひ企画してお呼びいただければ幸いです。お問い合わせは後援会事務所まで。



「国会見学」のご案内

さいとう健は、時間の許す限り、国会議事堂内を一緒に案内いたします。何名様でも結構ですので、お声かけいただければと思います。お問い合わせは後援会事務所まで。



さいとう健と一緒に
明日の日本を育てませんか？

さいとう健事務所では、ボランティアスタッフを募集しています。さいとう健の理念に賛同していただける方ならどなたでも歓迎します。政策ビラのポスティングや、ポスター掲示のご協力、軽作業など。一人ひとりのお力が、さいとう健の支えになります。



さいとう健 著

『転落の歴史に
何を見るか(ちくま文庫)』

10年前に出版した本が増補され、文庫版として発刊。今なお色あせない内容は、失われた10年を象徴しているのか。2度の大戦の歴史から現代が抱える政治的な欠落を読み解く。

定価：798円(税込)

書店で見つからない場合は事務所までお問い合わせ下さい。



メルマガ **さいとう健**

名前・住所の登録不要。

月刊さいとう健では伝えきれない内容満載。

返信すれば匿名で意見を伝えられます。

<http://www.saito-ken.jp/info/melmaga.html>



討議資料

やっぱり、
この男に！